

平成16年1月



名古屋税関麻薬探知犬管理センター（完成イメージ模型）

本施設は麻薬探知犬の管理や、能力維持の為の訓練を行う施設で、中部国際空港への空港移転に伴い、空港や港などにおける不正薬物の密輸入防止の拠点として、職員（ハンドラー）と麻薬探知犬とが円滑に業務が遂行出来るような環境整備や、健康管理に配慮をした施設整備を行います。

巻頭言「バイオリンと公共建築」	2	愛・地球博 名古屋市パビリオン	6
平成15年度 中部地方整備局営繕フォーラム	3	申年生まれの方から新年のごあいさつ	8
「公共建築の日」および「公共建築月間」創設記念シンポジウム 公共建築を考える	4		



－ 巻頭言 －

「バイオリンと公共建築」

中部地方整備局 官庁施設管理官 佐藤 英 明

我が家に2ヶ月間レンタルしたバイオリンがありました。この楽器は18世紀に作られたもので、その価格は、21世紀に製作された我が家のバイオリンとは2桁違うものでした。

バイオリンは16世紀に誕生し、300年以上、演奏会等で美しい音色を奏でています。ピアノや金管楽器の寿命が100年止まりと言われていますが、表板や裏板の厚さがわずか3～4mmというデリケートな楽器がなぜ長寿命なのでしょう。

バイオリンの本体は膠（ニカワ）で接着されており、木材を傷めることなしに分解可能です。また消耗部品である駒や糸巻きなどは交換できます。そのため修復が容易で長期間の使用に耐えることができます。また、使用者や楽器店により丁寧にメンテナンスされてきていることも大切な要因です。

17、18世紀のバイオリンはバロック仕様で作られていたため、音色は良くても音量が小さくコンサートホールでの使用には十分ではありませんでした。そこでより大きな音量が出せるよう、古い楽器の多くが18世紀後半から19世紀前半にかけて、フィッティング（ネックの交換などを含む大規模な改造）がされています。時代ニーズに対応して改造されたことにより、古い楽器が生き延びてきているのです。

バイオリンは古くなるほど音が良くなり、価格も高くなることはよく知られています。音が良くなるのは木材の経年変化等いろいろな理由があるようですが、長い期間、楽器が弾き込まれてきたことも大きな理由です。良い楽器は良い演奏家に丁寧に弾き込まれることにより、音色に魅力を増すものです。何百年も経った楽器が高いのは音が良いからというのは当然ですが、歴史の評価に耐えた優れたものしか残っていないからとも言えます。

現在はストック社会であり、公共建築も保全の時代へ移行しつつあります。日本は欧米と比較して建築物の寿命が短いと言われていますが、構造躯体の耐用年数はもっと長いものです。築年数の長い公共建築ストックが増加する一方、将来の行政支出の伸びが期待できないことから、これまでのように比較的短期間で建て替えにより建物を更新することは困難です。公共建築は長寿命化が求められています。

長寿命であるためには、公共建築物もバイオリンと同じく、維持保全しやすい設計であることは当然として、社会ニーズに対応した改修を行うことも必要になります。また、使用者によるきめ細かい保守・修繕等に加え、専門家による定期的なチェックも重要です。

以上にまして大切なのは、所有者、使用者、さらに地域の方などの愛着ではないでしょうか。愛着をもって丁寧に建築物を使い込むことによって、バイオリンのように、将来にわたって価値が高まる公共建築でありたいものです。



平成15年度 中部地方整備局営繕フォーラム

中部地方整備局では、平成15年11月7日に営繕フォーラムを開催しました。

営繕フォーラムは、営繕部の実施した事業を対象として、利用者の視点を踏まえ、企画から保全までの幅広い設計その他の技術についての討議及び評価を通じて、企画力の育成と事業の検証を行うことにより、職員の技術研鑽、営繕部事業の改善に資することを目的に開催するものです。

一昨年から始め3回目となった今回は、シビックコア地区整備制度の第1号承認で事業化された「岡崎合同庁舎」を対象に、説明及び討議を行いました。岡崎合同庁舎の事業では立体駐車場を市と一体で建設したこと、グリーン庁舎としての施策の実施などについてアンケート調査した結果などを踏まえて論議がなされました。

この様な営繕フォーラムは全国の地方整備局でそれぞれ実施されており、そこで議論のなされた優れた事業は本省において1月29日に開催される「営繕技術コンクール」に推薦され、そこで評価を行うこととなっています。

評価の視点は以下のとおりです。

- ① 目標及び達成手段の妥当性、目標の達成度
- ② 官庁施設の主要課題への対応
- ③ 施設の機能、景観形成等についての総合的な完成度となっています。

以下に今年度「営繕技術コンクール」に推薦される推薦事業が決定しましたので、本誌面をお借りし紹介します。

－ 北海道開発局営繕部 －



旭川法務局名寄支局

－ 東北地方整備局営繕部 －



二戸地方合同庁舎

－ 関東地方整備局営繕部 －



（独）東京国立近代美術館増築

－ 関東地方整備局営繕部 －



（独）製品評価技術基盤機構
－生物遺伝資源保存施設他－

－ 北陸地方整備局営繕部 －



小松日の出合同庁舎

－ 中部地方整備局営繕部 －



岡崎合同庁舎

－ 中国地方整備局営繕部 －



広島障害者職業能力開発校

－ 近畿地方整備局営繕部 －



大阪中之島合同庁舎

－ 四国地方整備局営繕部 －



伊野税務署

－ 九州地方整備局営繕部 －



国立長崎原爆死没者追悼祈念館

－ 沖縄総合事務局開発建設部 －



中城海上保安署

「公共建築の日」および「公共建築月間」創設記念シンポジウム 公共建築を考える

国民の生活に一層密着したより良い公共建築を目指すため、「公共建築の日」が創設されました。建築の基本的な構造を象徴する4本の柱のイメージと国会議事堂の完成（昭和11年11月）などから、11月11日が「公共建築の日」となりました。そして11月は「公共建築月間」です。

この「公共建築の日」および「公共建築月間」の創設を記念して、11月14日（金）「ウィルあいち」にてシンポジウムが開催されました。

シンポジウムでは、東京大学大学院工学系研究科教授 久保哲夫氏による基調講演『既存建築物の耐震化の現状と課題（東海、東南海・南海地震に備える）～復旧、復興のロード軽減のため～』及び、名古屋大学大学院環境学研究科教授 福和伸夫氏、笠嶋建築工房代表 笠嶋淑恵氏他によるパネルディスカッション『安全・安心な公共建築をめざして』が行われました。

中部地方では、東海地震対策大綱が策定され、東南海・南海地震の防災対策推進地域の検討もされています。パネルディスカッションでは、地震が起きる前に耐震対策を講じておくことの重要性や、単に耐震改修するだけでなく、同時に建物の価値を上げるような改修をすることが必要であることについて、活発な議論がかわされ、建設業関係者や官公庁関係者など、298名が聴講しました。

■ 日 時 平成15年11月14日（金）

13:30～16:30

■ 会 場 ウィルあいち

■ 基調講演

『既存建築物の耐震化の現状と課題』
（東海、東南海・南海地震に備える）
～復旧、復興のロード軽減のため～
講師 久保哲夫氏

（東京大学大学院工学系研究科教授）



■ パネルディスカッション

テーマ 『安全・安心な公共建築を目指して』

コーディネーター 福和伸夫氏（名古屋大学大学院環境学研究科教授）

パネリスト 笠嶋淑恵氏（笠嶋建築工房代表）

植村正氏（静岡県都市住宅部営繕総室営繕企画室長）

田島邦彦氏（愛知県建設部公共建築課長）

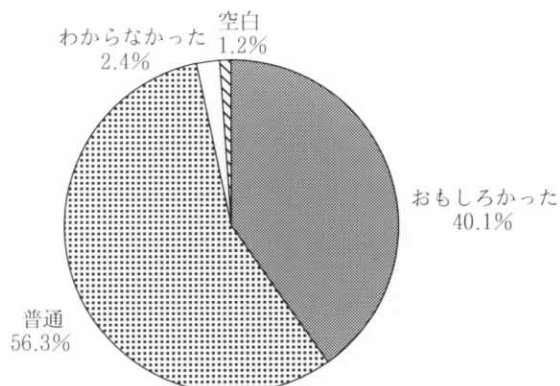
小林一彦氏（三重県総務局営繕チームマネージャー）

柊平健氏（国土交通省中部地方整備局営繕部計画課長）

■ 主 催 「公共建築の日」および「公共建築月間」中部地方実行委員会

— シンポジウム アンケート結果 —

問 1. 基調講演について



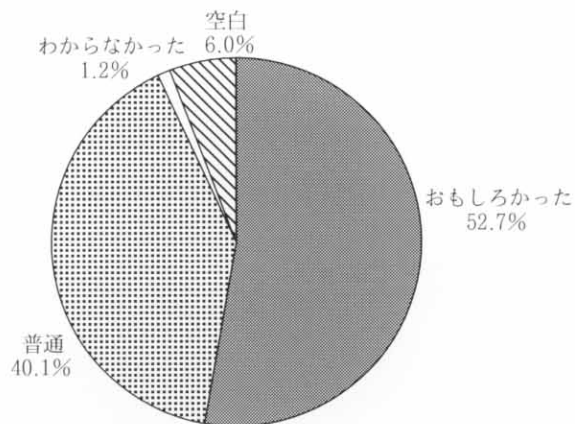
主な意見

- ・ストックの対策の方向性に共感
- ・ハード面の対策だけでは被害を無くす事は出来ないと認識
- ・具体的な内容がよかった
- ・現状把握がよくできた
- ・耐震補強手法を理解できた
- ・詳細な内容を聞きたかった

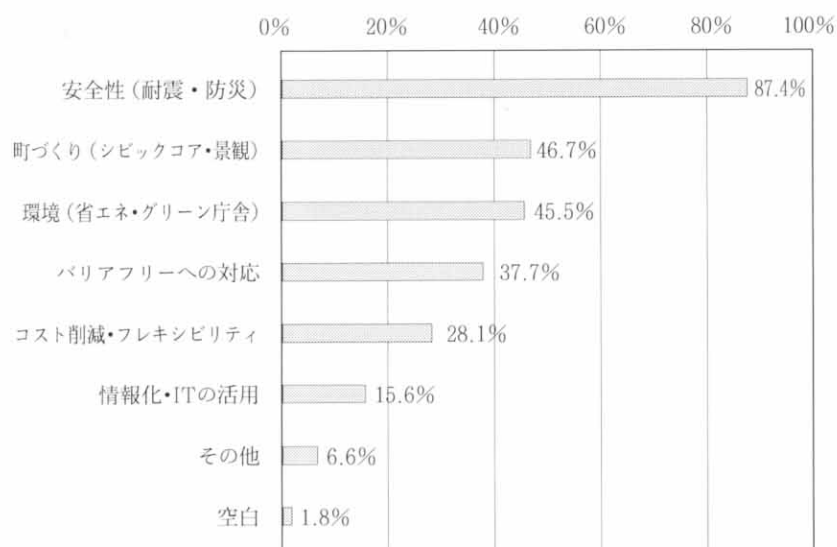
問 2. パネルディスカッションについて

主な意見

- ・コーディネーターがよかった
- ・いろんな角度からの意見を聞けた
- ・笠嶋先生の立場の人がもう一人いるとよかった
- ・各県の取組状況がおもしろかった（特に静岡県）
- ・各県の取組状況がわかった
- ・建物の安全性について再確認できた
- ・耐震の重要性が理解できた
- ・耐震に関する考え方が参考になった
- ・もう少し具体的な内容を話してほしかった
- ・レベルアップの耐震改修が望まれていたが、財政状況が厳しいなか財政課の理解を得がたい
- ・耐震の総予算に占める割合が知りたかった
- ・パネルディスカッションの時間が短かった



問 3. 公共建築に期待すること



主な意見

- ・避難施設としての役割
- ・いやしやゆとり
- ・美しさ、デザイン性
- ・機能性、使い易さ
- ・存在感
- ・地域の中核機能
- ・交通の利便性
- ・ストックマネジメント
- ・ファシリティマネジメント
- ・住民サービス
- ・地域性、文化性
- ・開放性

愛・地球博 名古屋市パビリオンについて

名古屋市では、2005年3月25日から開催される「愛・地球博」長久手会場において、世界最大の万華鏡を中心とするパビリオンを出展します。

1 出展の経緯

(1) 基本構想の策定（平成13年度）

国際日本文化研究センターの山折哲雄所長を座長に、名古屋市出展参加懇談会を開催。4回にわたる議論を経て「名古屋市出展参加基本構想に対する提言」を受け、これをもとに「日本のこころ、地球のいのち」をテーマとする基本構想を策定しました。

(2) 基本計画の策定（平成14年度）

総合プロデューサーに藤井フミヤ氏を迎え、パビリオンの具体化に向けた検討を開始。光・風・水が生み出す様々な表情を体感し、ゆとりとやさしさを生み出すことを基本に、世界最大の万華鏡、ライティングウォール（切り絵灯籠）、風の音具、アクアウォール（壁泉）を内容とする基本計画を策定しました。

(3) 実施計画の策定（平成15年度）

計画の実施に向けた具体的な作業として、模型による実験、試作開発などを行いながらのパビリオンの設計や、運営計画の策定などを行っています。

2 パビリオンの概要

(1) 世界最大の万華鏡

高さ47m、底辺26m、上辺15mの三角錐台の塔が万華鏡になっており、1階はピロティーで2階の観覧スペースに入ると様々な変化する直径約40mの球体が浮かんで見えます。

(2) ライティングウォール（切り絵灯籠）

高さ約2mの四角柱に市民参加により募集した切り絵をはめ込み、内部から照明し、これを複数連結した壁状の灯籠を万華鏡の塔の周囲に配置します。

(3) 風の音具

自然の風を受けて風車状の風受部が回転し、この力でハンマーが発音部を打つもので、3基設置され、それぞれが独自の音階を奏でます。

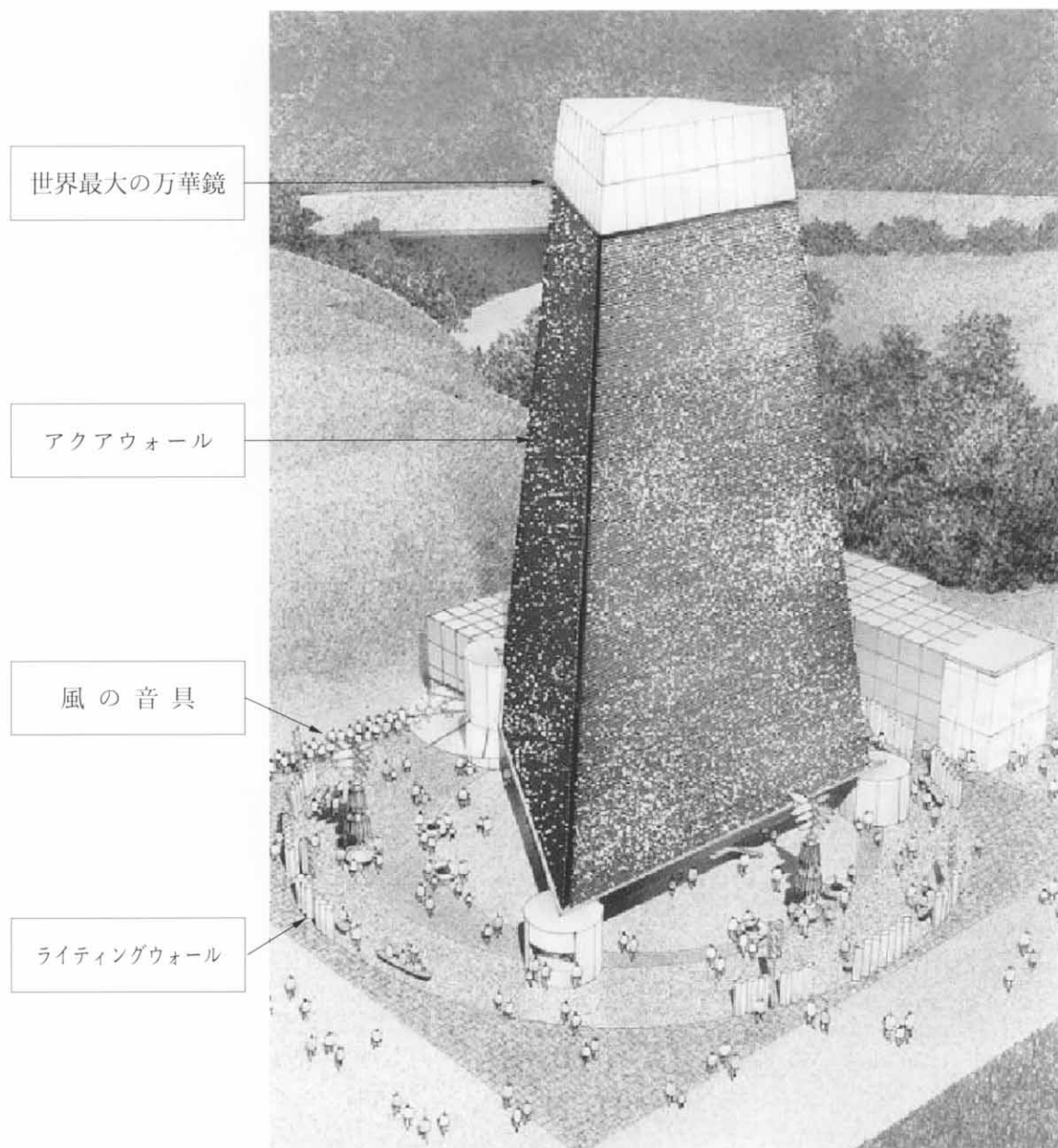
(4) アクアウォール

凹凸に加工された万華鏡の塔の壁面の上部から水を流し、変化する波形、泡などによる演出をします。

(5) 敷地面積

2,670㎡（長久手会場日本ゾーン内）

名古屋市パビリオンイメージ図



3 愛・地球博に向けた名古屋市の取り組み

名古屋市では、長久手会場へのパビリオンの出展のほか、愛・地球博の開催にあわせ博覧会のウェルカムゲートとして旧国鉄笹島操車場跡地において笹島サテライト事業を実施します。

また、環境・感性をキーワードに市民・企業・行政の協同により名古屋のまち中を舞台に盛り上げをはかっていく事業として“ネキスポシティ・シンフォニー”を展開しています。



申年生まれの方から新年のごあいさつ



HAPPY NEW YEAR



2004.1.1

昨年はたいへんお世話になりました
これからも変わらぬお付き合いのほど
よろしくお願いいたします

めざせホールインワン!

営繕部計画課
北原浩行



計画課
北原浩行



営繕監督室
水野賢蔵

新春
時はめぐり来て
今更を思いながら
これから進むこの年
人それぞれの夢を
しあわせの形はそれぞれに



設備課
杉浦 彰

謹賀新年



新たな気持ちで頑張ると
ともに、静岡をめい、ぼい
吸ひたいと思います

静岡営繕事務所
村瀬昌康



静岡営繕事務所
工務課
村瀬昌康

明けまして
おめでとう
ございます

昨年はお世話になりました
ありがとうございました。
本年もどうぞ宜しくお願い致します。

早いもので3回目の年男を迎えることになりました。

前回の年男からの12年は、中部圏への転機、結婚、長男の誕生など大きな変化がありました。



次の年男までにはどんなことがあるのか楽しみですが、何事にも前向きにチャレンジしていきたいと思えます。

また、家族を大切に、楽しい思い出を作りたいです。



静岡営繕事務所
総務課
大石智彦

編集委員 後藤 長谷川 春日井 青木
中田 清水 西澤 福山 柴田
水腰 加藤 村瀬 川原田

編集室 〒460-8514
名古屋市中区三の丸2-5-1
中部地方整備局営繕部営繕監督室内
TEL (052) 953-8196

★★★ 営繕ホームページへは ★★★
<http://www.cbr.mlit.go.jp/>